

町長の施政方針を 問う！

平成29年度当初予算の審議にあたり、議会開会日の3月1日、町長が施政方針を述べました。続いて、2日に2人の議員が質問に立ち、町長の見解を問いました。



石関 昭 町長

町長の施政方針

全国の市町村が、人口減少・少子高齢化に苦しんでいる中で、吉岡町は、平成62年頃まで、人口が増え続けると想定されています。

しかしその後は、人口が減少することも想定されていることから、総合戦略のみならず、総合計画などさまざまな施策を講じ、人口減少に転じることのないよう努めます。

支え合う健康と福祉のまち

心身ともに健康で長生きし、いきいきと輝き、誇りと生きがいを持って暮らせるよう、

前進する

まちづくりに全力

保健・医療・福祉の各分野が連携の取れたサービスを提供するよう努めます。

心豊かな教育と文化のまち

優れた知性を身につけ、豊かな心を持ち、心身ともに健やかに成長していけるよう、学校・家庭・地域社会の連携・協力のもと、学校教育の充実を図ります。

すべての町民が生涯を通じて学ぶ意欲を持ち、学習活動や文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりに努めます。

活力ある産業と雇用のまち

多様な地域資源を活かした地域産業の振興に、総合的に取り組みます。

住みよい安全で便利なまち

町民が安全便利に生活できるよう、安全なまちづくりを進めます。計画的な土地利用と町民生活を支える、道路網や公共交通網などの確保に努めます。

町民と行政が協働するまち

町民と行政の協働に

よる元気なまちづくりを目指します。

第5次総合計画の施策を確実に達成し、予算に占める借入金返済額の割合を抑制するという財政健全化も考慮したうえで、平成29年度予算でも、多額のまちの貯金を取り崩す予算編成となっています。「前へ、前へ」を念頭に、前進するまちづくりに全力を尽くします。「将来に責任を持てる町政を」が私の信念です。将来に禍根を残すことがないよう、熟慮します。

ワンポイント



町長の施政方針は、予算案を提案する前に、どのような方針で予算を編成したかを述べるものです。この施政方針に対し、議員は、それぞれ持ち時間30分で質問します。



山畑 祐男 議員

観光協会の設立を

問 男女共同参画事業の具体的な計画は。

町長 平成29年度に、推進協議会を立ち上げ、基礎資料作りやアンケートを実施し、年度内に取りまとめる予定。平成30年度に、男女共同参画計画を策定予定。

問 ふるさと納税の返礼品の充実に対する考えは。

町長 JAブランドの肉や米、野菜などを取りそろえ、安心・安全な、質の高い返礼品を考えている。

問 第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしジェクト」である。

おか再発見プロジェクト」では、近隣市町村と連携した観光を目指すとしているが。

町長 県と協力しながら、広域的な観光資源を活用した渋川・伊香保・吉岡観光トライアングルの形成が必要不可欠で、その仕組み作りが重要。

問 観光協会を設立する考えは。

町長 検討したい。

問 八木原駅、群馬総社駅の周辺整備にどのような支援・協力を考えているのか。

町長 それぞれの整備計画について、情報提供を受けながら、できる協力は、検討したい。

問 駒寄スマートーC大型車対応化工事が終了し、大規模開発が進んだ場合、今の道路では、対応できないのでは。

町長 安全・安心な通行ができるよう、検討したい。

問 まちが設置予定の役場庁舎非常用発電機はどのようなものか。

町長 途中、給油を行わない場合、連続稼働時間は、72時間。100ワットの電気製品が200台使えるディーゼル発電機を予定。

問 町長のふるさと納税に対する考えは。

町長 町民で、他市町村にふるさと納税をしている人が増えているという現状を考えると、この事業をしなければならぬということ、本年度から計画する。

問 返礼品について、は、まちの特産品も考えては。

町長 まちの特産品が加われば、まちの活性化にもつながると思う。検討したい。

問 給食費の無料化、あるいは、給食費補助を増額する考えは。

町長 私も、公約の中で、無料化



小池 春雄 議員

給食費の無料化を

に向け努力するということは掲げている。残り2年間で、その年度の予算、税収を考えながら、検討したい。

問 住宅リフォーム助成の充実策として、補助率の引き上げなどは考えられないか。

町長 補助金の額は、10万円を限度として、工事金額の10%に相当する額になっている。引き続き制度の周知を図りたい。あまり利用者が少ないならば、いろいろ検討しなければならぬが、今のところは、この制度でいきたい。

問 下水道へのつなぎ込みへの補助は考

えられないか。
町長 農業集落排水、公共下水が関係してくるので、難しい。

問 空き家対策事業として、空き家を把握したあと、まちは何をするのか。
町長 今後、空き家対策計画を策定する予定。その中で、住民代表、専門家などで構成された協議会を立ち上げ、検討したい。